

# 山行報告書

神戸勤労者山岳会

- 1 参加者 L 宮島、西尾、保木本、湊  
2 山城・ルート 扇ノ山来見野川・氷ノ山八木川  
3 交通手段 車  
4 行動記録

6/2(土) 扇ノ山来見野川

S 入溪地点 07:20-07:47 諸鹿行き止まり 07:50 再入溪地点 09:58 大鹿滝 10:15-13:11 遡行終了 13:34 広留野行き止まり 13:46 広留野高原 14:01 広留野高原看板 15:01 諸鹿行き止まり 15:03 ゴール地点 G

6/3(日) 氷ノ山八木川

日帰り	山行	7時間1分	休憩	30分	合計	7時間31分					
S	わかさ氷ノ山キャンプ場登山口	06:34	06:38	町道登山道・キャンプ場登山道合流							
	06:42	北探勝路分岐	06:45	06:47	旧伊勢道石畳	06:51	06:58	木原八丁			
	07:07	氷ノ山越	07:14	07:37	木地屋跡	07:39	07:45	地藏堂	07:57	布滝	08:03
	08:40	入溪	10:00	高巻で撤退を決める	11:45	登山道へ戻る	12:18	布滝	12:41	地藏堂	
	12:50	木地屋跡	12:52	13:35	氷ノ山越	13:38	13:45	木原八丁	13:51	旧伊勢道石畳	13:53
	13:56	北探勝路分岐	14:03	わかさ氷ノ山キャンプ場登山口	14:04	14:05	ゴール地点	G			

## 5. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

### a 山行は予定の内容・日程で行動出来たか

扇ノ山ほぼ予定通りに遡行できた。ただし3点ほど問題にならない程度で予定外。

- ①入溪地点で下流に行きすぎてしまい、再び県道にでて入溪しなおして30分ロスした。
- ②ゴルジュは全部高巻いて通過してしまった。懸垂下降地点へのトラバース地点は不明。
- ③最後の滝の高巻きも、トポではガリー登攀だったが危なそうだったので、崖の手前まで戻って高巻いたところ、そのまま自然歩道に出た。

氷ノ山は45m滝に先行Pがいたこともあり、トポ通りに右岸を高巻こうとしたら行き詰り、懸垂2回で戻り、撤退することになった。

### b 事故に繋がりそうな要因（ヒヤリハット）が発生したか 発生した場合は具体的に記す

特になし。八木川の失敗した高巻きは切り立っていて怖かった。

### c その他、ルートに関する情報・気がついた事等

来見野川：沢中1級高巻3級とはうまい表現であり、確かに沢中で難しいところの一つもない。滝は登れないのですべて高巻きであり3級はないにしても2級上のイメージ。ゴルジュへの降り口が分からずすべて巻いてしまったので、ゴルジュへ入れば印象はまた変わるかもしれない。最後までわざわざガリーを突破する必要はなく、自然歩道に出て遡行終了で問題ない。

八木川：12年前のトポ(Y岡本)ではゴルジュの入口まで戻って右岸高巻となっているが、今日右岸を高巻くのは困難と思われる。

6/3(日)は氷ノ山の山開きだったらしく、若桜キャンプ場は鳥取の高校生でバンガローとフリーサイトはいっぱいだった。快晴だったので普通の登山者も多かった。オートサイトに泊まったが快適だった。星がかなり見えた(北斗七星しか分からないが)。次はバンガローに泊まりたい。

わかさゆはら温泉は400円がモンベルカードで200円と格安。ただしボディーソープしかない。

写真・感想はヤマレコ参照

<https://www.yamareco.com/modules/yamareco/detail-1486626.html>

<https://www.yamareco.com/modules/yamareco/detail-1486615.html>

報告者氏名 宮島 平成30年6月7日

以下ヤマレコより転載

### 来見野川

これまで一度も行けてない兵庫県北部の沢へとうとう行けることに。天気は快晴。このところ好天続きで一度も雨天中止になってないので、あとが怖い。

(実際に次の日に快晴なのに敗退するというとんでもないことになる。。)

土日帰り沢2本の欲張りセット。夜はすき焼きつきで一人5000円。この日は来見野川へ。本日も快晴。

ここまで集合ロスもなく、炭も閉店ぎりぎりを買えたし、順調すぎた。こういうときは何かある。結果3つの小ミス?があった。

案の定しょっぱなから入渓間違い。入渓地点はカーブのすぐ下が正解。戻りすぎて下の二俣から入渓してしまい、もう一度県道に戻って再入渓。30分以上ロスした。Y岡本にもこの入渓地点下のトポが載っているということは、Y岡さんも同じ間違いをした?とポジティブに考えてみるよろし。

二俣の滝の大巻はどうなるのかと思ったが、ロープがしっかりと固定されていたので助かる。大鹿滝はなるほどこれはでかい。そういえば昔、日光でも裏見の滝に行ったなあ。

大鹿滝の高巻きでは先頭に行く。巻きすぎないように注意していたが、結局のところゴルジュは全部巻いてしまった。途中でここかなあ?というところが一か所あったのでそこをトラバースすべきだった。まあいいや。今日は17時までにキャンプ場にチェックインしないといけないので、よしとする。小ミス2回目。

その後の滝は右まいて、左まいて、最後も左巻いて??

最後の滝の右岸のガリーにトライするもあまり良くない。ここじゃないのかなあ?

お助け紐でゴボウで降りて、トポとは違うが戻って下から高巻く。高巻いていたら自然歩道に出ってしまった。小ミス3回目。まあいいや。遡行終了。

帰りは広留野集落を通過して、うまくつながっていない県道へ入る。コンクリートは途中まででそのあとは未舗装の林道。だいぶ荒れているが道幅は結構広い。途中でつづら折りになっていて余計な距離を歩かされたが、下手に林道からはずれてトラバースするよりも安全。最後は崖を登るともう一度コンクリートが出てきて戻れた。

結果的に小ミスはあったが順調にクリア。しかし沢中1級巻き3級と沢ナビさんに記載してあったが、まさにその通り！沢中には困難な登攀はなし。一方ですべての大滝は巻くしかなく、その巻きは2級クラス。特に大鹿滝の高巻きは全部巻いてしまったから長かった。でも懸垂の降り口も不明瞭。最後のガリー高巻きもよく分からない。もっとも滝上に何かあるわけではないので、自分らのルートで遡行終了しても全然問題ない。

なかなか巻きばかりなので評価が難しい沢である。再遡行するだけの食指が湧くほどではないかなあ。

## 八木川

昨日の来見野川に気分を良くして、本日は氷ノ山八木川源流へ行く。本日も快晴で暑くなりそう。沢が気持ちよさそうな天気だ。だがこののち思わぬ結末になる。

若桜側から入り氷ノ山越えを越えてから入渓するアプローチを選択。昨日の来見野川との土日欲張りセットで、どのように日程とコースを組み立てるかかなり思案した結果、車の移動の少ないこのコースを選択。氷ノ山越えの往復分のエキストラは仕方ない。5月末と一緒に溪流釣りに行った沢の神様からは「意欲的なコース」と事前にありがたいお言葉をいただいた。しかし神様からの期待は裏切られる。

昨日の沢での疲れが溜まっていて辛い。1名の変態を除いて自分を含めた少なくとも2名は足が筋肉痛でつらい。残りの1名はまあまあか。氷ノ山越えまで結構しんどい。天気は快晴。氷ノ山越えからの下りも結構長い。沢に入ってしまうと涼しいしそれまでの我慢と期待が高まる。

福定公園の手前の堰堤から入渓。20mは右岸から余裕。すぐに遅くまで雪渓が残る60mの崖にでる。ほんの少しだけだったが雪渓が残っていた。前を見ると、先行Pが45m滝の右岸を登っていた。5名おり時間がかかりそうだったので、トポ通りに少し戻って右岸を高巻くことに。

踏み跡らしき道を登っていくがすぐに道が分からなくなる。右を除いたりするが切り立っており行けない。しかたないのでだんだんと上に登って行ったところ、とうとう行き詰る。懸垂下降しようにも下の状況は分からないし50mロープ1本ではおそらく届かない。また45m滝も結局のところまだ巻けていなそう。

ここですでに高巻で1時間を使ってしまった。足場も悪くて落ちたら命はない。まだ10時と早いですが、これから戻ってさらに登るのは時間がかかりすぎる。いさぎよく撤退を決める。

ロープを3回だして、うち2回は懸垂下降をし、1時間以上かけてようやく廊下の入口まで戻る。残念ながら敗退である。12年前のトポでは右岸巻きだったが、もはや高巻はない。廊下には角ばった岩がゴロゴロ転がっているしおそらく崩壊したのではないかと思われる。

60m 壁の反対側の斜面を登るとすぐに登山道に出た。着替えてお昼を食べて戻る。行きにはこの登山道に戻ることはないと思っていたのに、登り返す羽目に。辛い。「意欲的ルート」が裏目に出てしまった。暑いし昨日の疲労は残っているのでへろへろ。途中のひえ水でコップ2杯がぶがぶ飲む。冷たくておいしい。

氷ノ山越えで小休止。疲れているヘタレ3名に対して変態様から森三中と呼ばれてしまった。誰が黒沢のポジションになるかで3名で喧嘩になる(嘘)。氷ノ山越えからの下りは早い。タコメーターのついていない状態の体なので7000回転くらいかな。所詮、俺はイツキポジション。

下山後、ゆはら温泉に入っておとなしく帰る。非常に疲れていて帰りの車でいつの間にか寝る。注意力が散漫で車にヘルメットを忘れる。月曜も筋肉痛。

土日帰りの沢登り欲張りセットは1勝1敗。天気が快晴だったでの機会を行かせきれなかったのが残念。1つは水平の沢で、もう一つは登りの沢なのでいい組み合わせだと思う。リベンジをしよう。